学び の 図書館 紀行 7

こども本の森 中之島

こども本の森 中之島
大阪市北区中之島 1-1-28

今回ご紹介いたしますのは、「こども本の森 中之島」です。京阪中之島線・なにわ橋駅 3 番出口を出ると、土佐堀川沿いにコンクリート打ち放しのスタイリッシュな建物がひと際目を引きます。

大阪府出身でもある建築家の安藤忠雄さんから、「本や芸術文化を通じて、子どもたちが豊かな創造力を育む場を整備し大阪市に寄附したい」と提案されたのを受け、安藤忠雄さんの設計により令和２年(２０２０年)に中之島公園内に開館したのが「こども本の森 中之島」という、子どもが主人公の文化施設です。

「こども本の森 中之島」は大阪市立東洋陶磁美術館の東隣に位置し、北側の堂島川の景観と南側の公園の緑をつなぐエントランス・ポーチには、「永遠の青春」と名付けられた安藤忠雄さんデザインによる青いりんごのオブジェが置かれ、やって来る子どもたちを優しく出迎えます。

▲「こども本の森 中之島」のロゴマーク

▲安藤忠雄さんデザインによる青いりんごのオブジェ

安藤忠雄さんが、子どもたちのために設計、そして完成した建物を大阪市に無償で提供され、そしてこの活動に共感された山中伸弥さん（京都大学 ips 細胞研究所名誉所長・教授／ノーベル生理学・医学賞受賞）が名誉館長を務められていることにとても感銘を受けます。
こども本の森は、子どもたちがお気に入りの一冊を見つけることをコンセプトにした文化施設です。
子どもたちは、本を選ぶときに表紙を見て好きな本を探すことが多く、この施設では、表紙を見せる展示に工夫を凝らしていることがよく分かります。

▲小さな子どもが手にしやすい低い位置にも
◀壁一面ずらりと配架された本の数々

また館内には、「言葉の彫刻」という展示方法が取られていて、これがすごく目を引きます。
本の中から印象的なアフォリズム（短文）を抽出し、その立体文字を空間に浮かぶように掲出しています。
本は、手に取りページをめくらないとその本の魅力、世界観に触れられませんが、アフォリズムを立体的に浮かび上がらせることで子どもたちが足を止めて「なんだろう？」と興味を持ちます。
アフォリズムの一文が持つ魅力で子どもたちが、新しい世界に触れることができる。
施設のスタッフさん達が、展示方法を考えに考えて生み出されているこの手法には、感動さえ覚えます。
とても素敵な展示ですよね。

▲子どもたちの好奇心をくすぐる工夫

またこの施設では、展示（テーマ）を 1 から 12 のパートに分ける方法が取られています。
館内に入ってきた子どもたちの緊張感を和らげるために最初の展示には、「自然」をテーマにしたものを選んだり、また奥に進むと身近なテーマでもある「食」を選ぶ等の工夫がしてあります。
身近なテーマを館内の奥の方に配置することで最後まで子どもたちに飽きずに館内を楽しんでもらおうというスタッフさん達の愛情が感じられる工夫ですね。

そしてもう一つ興味深い取り組みがありました。
「こども本の森 中之島」は、子どもたちのために作られた文化施設ですが、「子どもを子ども扱いしない」選書、展示をされているところです。
一般的に児童書には、対象年齢が記載されていて、公共図書館だと年齢に応じた資料の展示やお薦め本を紹介することが多いですが、こちらの施設ではそのような資料の展示がされていません。
又、館内には必ずある検索機も置いていないのです。
迷路のような通路を歩きまわり、お気に入りの一冊と出会う楽しみが待っています。
もちろん、スタッフの皆さんも素敵な本との出会いが叶えられるように一緒に探しまわったりもしてくれますが、答えを決めつけるのではなく、目的の場所にたどり着くまでの間に最初に思っていた本とは違うテーマのものにも興味を持ったり、ワクワク感が持てる仕掛け作りをしてくれます。

「こども本の森 中之島」は、安藤忠雄さんが設計されたことをご紹介しましたが、安藤建築といえば、「光（明かり）」を大切にすることでも有名ですよね。
こちらでは、縦のスライド型の光（明かり）の入り方が特徴で3階の階段の上から見ると通路に光が鮮やかに差し込む様子が伺えます。
これが、季節や時間によって様変わりしますので、来館する時間や季節によって館内の雰囲気が変わる楽しみを味わえるのも素敵ですよね。
又、光（明かり）への工夫だけではなく、季節によって咲き誇る花々（桜、つつじ）を通じて季節感を味わえるのもこちらの特徴の一つになっています。

今は、コンクリート打ち放しの建物ですが、蔦が施設を覆い、見た目にも本の森になるようにスタッフの皆さんが大切に植物を育てられています。
それは、子どもの成長を見守る親のような気持ちなんだろうなとスタッフさんを見ていると感じる施設でした。
大人でも楽しめる文化施設ですので是非皆さんも行ってみてください。

【取材先】こども本の森 中之島
所在地：大阪市北区中之島 1 丁目 1 番 28 号
指定管理者：TRC＆長谷工 meet BACH
代表企業・運営 / 株式会社 図書館流通センター（TRC）
構成企業・管理 / 株式会社 長谷工コミュニティ
構成企業・クリエイティブ・ディレクション / 有限会社 BACH

【取材者】株式会社キャリアパワー　サポートセンター　加藤 毅